

NPO法人学生文化創造

国公立大学の若手職員研修会

NPO法人学生文化創造(坂本幸一理事長)は6月19日、20日、ハイブリッド方式(対面・オンライン併用)により「これから大学を支える若手職員研修会」を開催し、国・公・私立大学職員、合計57名が受講した。研修会ではまず、吉岡知哉日本学生支援機構理事長から「高等教育の課題」拡大する大学職員の役割」の題目で講義が行われた。吉岡氏は、研究教育領域の拡大、教育内容の変化、深刻化する少子化、ガバナンスの重要性について知見を示すとともに、高等教育の質に関しては「教育サービスの質そのものを保証する観点が重要。また大学職員はマネジメント能力や専門的技術を持ち合わせなければならない」などと述べた。



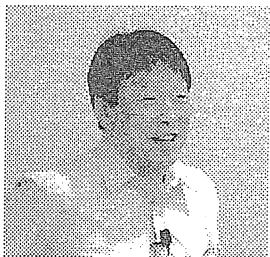
吉武博通氏



吉岡知哉氏



横山恭子氏



荻間澤勇人氏



グループワーク

学生文化創造は、8月に学生支援に関する基礎研修講座、スチューデントコンサルタント認定試験(対面実施)、10月に学生支援に関する研修会(対面・オンライン実施)、12月に大学等の運営を担う職員研修会(オンライン実施)を行うとしている。

続いて、吉武博通東京家政学院理事長(元首都大学東京理事、元筑波大学理事・副学長)から「戦略構造組織と職員の役割」激動の時代に未来を拓くために」の題目で、荻間澤勇人会津大学教授・学生部長から「学生支援について」グループアプローチ活用のすすめ」の題目で、横山恭子上智大学学生総務担当副学長・教授から「学生のメンタルヘルス」学生気質の変容について」の題目で、それぞれ講義が行われた。

また、今年度から各日の最初の講義前にグループ別懇談会を実施。名刺交換・自己紹介などを事前に行ったため、参加者からは「グループワークがスムーズに行えた」などの好意的な意見が多かった。このほか、スチューデントコンサルタント認定者による体験報告として、和洋女子大学の宮田佳南子氏から報告が行われた。